

# 世界史 B

(4 問題 100 点)

## I 世界史 B 問題

(20 点)

内外の圧力で崩壊の危機に瀕<sup>ひん</sup>していた、近代のオスマン帝国や成立初期のトルコ共和国では、どのような人々を結集して統合を維持するかという問題が重要であった。歴代の指導者たちは、それぞれ異なる理念にもとづいて特定の人々を糾合することで、国家の解体を食い止めようとした。オスマン帝国の大宰相ミドハト＝パシャ、皇帝アブデュルハミト 2 世、統一と進歩委員会(もしくは、統一と進歩団)、そしてトルコ共和国初代大統領ムスタファ＝ケマルが、いかにして国家の統合を図ったかを、時系列に沿って 300 字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

## Ⅱ 世界史B問題

(30点)

次の文章(A, B)を読み,  の中に最も適切な語句を入れ, 下線部(1)~(10)について後の問に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A 秦王<sup>えいせい</sup>嬴政は, 前 221 年に齊<sup>(1)</sup>を滅ぼし「天下一統」を成し遂げると, 「王」に代わる新たな称号を臣下に議論させた。丞相らは「泰皇」なる称号を答申したが, 秦王<sup>(2)</sup>はこれを退け「皇帝」と号することを自ら定めた。以来二千年以上の長きにわたって, 「皇帝」が中国における君主の称号として用いられることとなった。

「皇帝」は, 唯一無二の存在と観念されるのが通例であるが, 歴史上, 複数の皇帝が並び立ったことも珍しくない。たとえば「三国時代」である。220 年, 後漢<sup>(3)</sup>の献帝から帝位を禅譲された曹丕<sup>(4)</sup>が魏王朝を開き洛陽を都としたのに対し, 漢室の末裔を標榜する  a  は成都で皇帝に即位し(蜀), 次いで孫権が江南で帝位に即いた(呉)。蜀は 263 年に魏軍の侵攻により滅亡, 呉も 280 年に滅び, 中国は再び単独の皇帝により統治されるに至るが, 魏も 265 年, 司馬炎が建てた晋に取って代わられていた。

晋による統一は八王の乱に始まる動乱の前に潰<sup>つい</sup>え去り, 江南に難を避けた華北出身の貴族らが晋の皇族を皇帝と仰ぐ政権を建康に樹立, その後, 門閥貴族<sup>(5)</sup>が軍人出身の皇帝を奉戴する王朝の時代が百数十年の長きにわたって続いた。華北では, 「五胡十六国」の時代を経て, 鮮卑<sup>(6)</sup>による王朝が 5 世紀半ばに華北統一を果たした。

隋末の大混乱を收拾し中国を統一した唐王朝は, 第 2 代皇帝太宗の時, 北アジア遊牧世界の覇者であった東突厥<sup>(7)</sup>を服属させ, 太宗は鉄勒諸部から「天可汗」の称号を奉られた。統一を果たしたチベット<sup>(8)</sup>に対しては, 皇女を嫁がせて関係の安定を図った。

唐の第 3 代皇帝高宗の皇后となった武照(則天武后)<sup>(9)</sup>は, 690 年, 皇帝に即位し国号を「周」と改めた。中国史上初の女性皇帝<sup>(10)</sup>の誕生である。後継者に指名されたのは彼女が高宗との間にもうけた男子であったが, 彼の即位直後, 国号は「唐」に復された。

10世紀後半に中華を再統合した宋王朝は、失地回復を目指して契丹(遼)と対立したが、1004年、両国の間に講和が成立した。<sup>(11)</sup>「澶淵の盟」と呼ばれるこの和約では、国境の現状維持、宋から契丹に歳幣をおくることが取り決められた。両国皇帝は互いに相手を「皇帝」と認め、<sup>(12)</sup>名分の上では対等の関係となった。

12世紀前半、女真の建てた金に都を奪われ、上皇と皇帝を北方に拉致された宋では、高宗が河南で即位したものの、<sup>(13)</sup>金軍の攻撃を受けて各地を転々とした。やがて杭州を行在と定めると、高宗は、主戦派と講和派が対立する中、<sup>(14)</sup>金との和睦を決断する。この結果、淮水を両国の国境とすることが定められたほか、宋は金に対して臣下の礼をとり、毎年貢納品をおくることとなった。

## 問

- (1) 戦国時代、齊の都には多くの学者が招かれ、齊王は彼らに支援の手を差し伸べたとされる。「稷下の学士」と称されたこれら学者のうち、「性悪説」を説いたことで知られる人物は誰か。
- (2) このとき彼は、自らの死後の呼び名についても定めている。その呼び名を答えよ。
- (3) この時代、ある宦官によって製紙法が改良された。その宦官の名前を答えよ。
- (4) 彼が皇帝に即位した年に創始された官吏登用制度は何か。
- (5) この時代、対句を用いた華麗典雅な文体が流行する。その名称を答えよ。
- (6) 華北を統一してから約半世紀後、この王朝は洛陽への遷都を行う。この遷都を断行した皇帝は誰か。
- (7) 彼の治世に陸路インドに赴き、帰国後は『大般若波羅蜜多經』などの仏典を漢訳した僧侶は誰か。
- (8) 7世紀前半、チベットを統一した人物は誰か。
- (9) 仏教を信奉した彼女は、5世紀末から洛陽南郊に造営が始められた石窟に、壮大な仏像を造らせた。その仏教石窟の名称を答えよ。

- (10) 皇帝とはならなかったものの、朝廷で絶大な権力を振るった女性は少ない。このうち、清の同治帝・光緒帝の時代に朝廷の実権を掌握した人物は誰か。
- (11) ここで言う「失地」とは、契丹が後晋王朝の成立を援助した代償として譲渡された地域を指す。その地域は歴史上何と呼ばれているか。
- (12) 歳幣として宋から契丹におくられた品は絹と何か。その品名を答えよ。
- (13) 文化・芸術を愛好し、自らも絵筆をとったことで知られるこの人物が得意とした画風は何と呼ばれているか。
- (14) 高宗を金との和平に導いた講和派の代表的人物とは誰か。

B 現在、中華人民共和国には4つの直轄市が存在する。北京市を除く3つの直轄市にはかつて租界が存在した。

最も早くに租界が置かれたのは1842年の南京条約によって開港された上海であった。1845年にイギリス租界、1848年にアメリカ租界、1849年にフランス租界が設置され、1854年にはイギリス租界とアメリカ租界が合併して共同租界となった。租界はもともと外国人の居住地であったが、太平天国の乱によって大量の中国人難民が流入したことを契機として、中国人の居住も認められることになった。<sup>(15)</sup>共同租界には工部局、フランス租界には公董局と呼ばれる行政機関が置かれ、独自の警察組織や司法制度を有していた。租界は中国の主権が及ばず、比較的自由的な言論活動が可能であったことから、革命活動の拠点の一つとなった。<sup>(16)</sup>

上海は中国経済の中心でもあった。1910年代から1930年代にかけて、上海港の貿易額は全中国の4割から5割を占めた。また、上海には紡績業を中心に数多くの工場が建てられた。<sup>(17)</sup>上海の文化的繁栄はこうした経済発展に下支えされていた。1937年、日中戦争が勃発すると、戦火は上海にも及び、租界は日本軍占領地域のなかの「孤島」となる。1941年12月、日本軍が上海の共同租界に進駐した。1943年に日本が共同租界を返還すると、フランスもフランス租界を返還し、上海の租界の歴史は幕を閉じた。<sup>(18)</sup>

直轄市のうち最も人口が少ない b 市は、1860年の北京条約によって開港され、イギリス、フランス、アメリカが租界を設置した。次いで、

日清戦争後の数年間にドイツ、日本、ロシア、ベルギーなどが次々と租界を開<sup>(19)</sup>設した。この前後の時期、直隸総督・北洋大臣<sup>(20)</sup>の李鴻章や袁世凱が  を拠点に近代化政策を相次いで実施した。 は政治の中心地である北京に近いこともあって、数多くの政治家、軍人、官僚、財界人、文人が居を構えていた。 には最も多い時には8か国の租界があったが、1917年にはドイツとオーストリア＝ハンガリーの租界が接収され、1924年にはソ<sup>(21)</sup>連、1931年にはベルギーの租界が返還された。さらに、1943年には日本租界を含むすべての租界が中国側に返還された。

直轄市のうち人口も面積も最大の  市に租界があったことはあまり知られていない。というのも、 の租界は、上記の2都市とは違って、政治的、経済的影響力をほとんど持たなかったからである。 で唯一の租界である日本租界は1901年に設置されたが、1926年になっても に居留する日本人は100名余りで、このうち租界に居住していたのは20名余りにすぎなかった。 の日本人居留民は中国人による租界回収運動により、たびたび引き揚げを余儀なくされた。1937年の3度目の引き揚げ後、国民政府は日本租界を回収した。翌年、国民政府は  に遷<sup>(24)</sup>都し、抗戦を続けた。

## 問

- (15) (ア) 太平天国軍を平定するために曾国藩が組織した軍隊は何か。  
(イ) 太平天国軍との戦いでウォードの戦死後に常勝軍を指揮し、のちスーダンで戦死したイギリスの軍人は誰か。
- (16) 1921年に上海で組織された政党の創設者の一人で、『青年雑誌』(のちの『新青年』)を刊行したことで知られる人物は誰か。
- (17) 日本人が経営する紡績工場での労働争議を契機として1925年に起こった反帝国主義運動を何と呼ぶか。
- (18) 日本の圧力を受けてフランス租界を返還した対ドイツ協力政権を何と呼ぶか。

- (19) 日清戦争の契機となった甲午農民戦争は、東学の乱とも呼ばれる。東学の創始者は誰か。
- (20) フランドル(現在のベルギーの一部)出身のイエズス会士で、17世紀半ばに中国に至り、アダム＝シャルルを補佐して暦法の改定をおこなった人物は誰か。
- (21) (ア) 李鴻章と伊藤博文は朝鮮の開化派が起こしたある政治的事件の処理を巡って1885年に条約を締結した。この政治的事件は何か。
- (イ) (ア)の政治的事件は、対外戦争での清の劣勢を好機と見た開化派が起こしたものである。この対外戦争とは何か。
- (22) この都市の日本租界で暮らしていた溥儀は、満洲事変勃発後に日本軍に連れ出され、1932年に満洲国執政に就任した。それ以前に中国東北地方を支配し、のち西安事件を起こした人物は誰か。
- (23) 中国が連合国側に立って第一次世界大戦に参戦したことがこの背景にある。同年、アメリカも連合国側に立って第一次世界大戦に参戦した。アメリカ参戦の最大の契機となったドイツ軍の軍事作戦は何か。
- (24) (ア) 1938年12月にこの都市を脱出、1940年に南京国民政府を樹立して、その主席に就任した人物は誰か。
- (イ) 1919年に上海で樹立された大韓民国臨時政府は、1940年にこの都市に移転する。大韓民国臨時政府初代大統領で、1948年に大韓民国初代大統領となった人物は誰か。

**Ⅲ** 世界史B問題

(20点)

中世ヨーロッパの十字軍運動は200年近くにわたって続けられた。その間、その性格はどのように変化したのか、また、十字軍運動は中世ヨーロッパの政治・宗教・経済にどのような影響を及ぼしたのか、300字以内で説明せよ。解答は所定の解答欄に記入せよ。句読点も字数に含めよ。

IV 世界史B問題

(30点)

次の文章(A, B)を読み、の中に最も適切な語句を入れ、下線部(1)~(25)について後の問に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。

A エジプトに、都市  a  が建設されたのは紀元前4世紀のことであった。地中海世界の東西南北から文物の集まるこの都市に開設された図書館は名高く、膨大な蔵書を誇った。エジプトがローマ帝国の支配下にあった紀元2世紀半ば、 a  で、この知的伝統の上に立って、『天文学大全』でも知られる  b  が『地理学』を書いた。同書は天文学と幾何学を用いて地球の形態や大きさを測り平面地図に表現する方法を記し、<sup>(1)</sup>既知世界の8,000以上の地点を経度・緯度で示した。オリジナルは失われているが、後にビザンツ帝国で<sup>(2)</sup>作られた写本には、地図が付されている。

12世紀の半ばには、<sup>(3)</sup>コルドバに学んだイドリーシーが、キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教の共存するシチリア王国の国王のために、南を上にした数十葉の地図を付した『世界横断を望む者の慰みの書』を著した。 b  やラテン語の地理書に加え、この頃すでに数百年の伝統を築いていたアラブの地理学のエッセンスを吸収した成果であったが、キリスト教世界、イスラーム世界双方で影響は限定的だった。

中世ヨーロッパの地理的世界観をよく表すのは、<sup>(5)</sup>1300年頃の作とされる、イギリスのヘレフォード図である。中心に聖地を置き、上部にアジア、右下にアフリカ、そして左下にヨーロッパが配される。

新しいタイプの地図は近世に生み出された。1512年に東フランドルの小都市に誕生したメルカトルは、ルーヴァン大学などで人文主義教育を受けた。<sup>(6)</sup>1536年には卓越した銅版彫刻の技術を駆使して、<sup>(7)</sup>地球儀の製作にかかわった。順調に評価を高めていったが、1544年には<sup>(8)</sup>ルター派の異端として一時投獄された。その危機を乗り越え、1569年には、彼の名を後世にとどめることになるメルカトル投影図法による世界地図を発表した。これは、球体を円筒に投影して平面に展開したところに特徴がある。目指す方角を正確に示すこの地



図を、彼は、当時世界の海にのりだしていくようになった航海者たちのために<sup>(9)</sup>作成した。

1666年、ルイ14世は科学アカデミー<sup>(10)</sup>を設立し、翌年パリ天文台を建てた。ここで4代にわたり天文台長をつとめたカッシーニ家は、天文学の技術を地図作成に応用し、三角測量によって、内政や軍事に求められるフランス王国の正確な地図を徐々に完成させていった。1793年、こうして作られた地図一式は、カッシーニ家から没収され国有化される。それ以降、カッシーニの地図は、王の版図ではなく単一のフランス「国(国民)」を象徴するものとなり、カッシーニの科学的測地法は他の国々に採用された。地図は、19世紀以降の国民国家や海外植民地帝国の形成に大きな役割を果たし、「ラテンアメリカ」<sup>(11)</sup>や「中央アジア」のような新たな地域概念は、現代まで世界認識を規定している。

## 問

- (1) この学問の祖と言われる人物の名を記せ。
- (2) 11世紀頃から行われ始め、この社会に大きな変容をもたらしたプロノイア制について、簡潔に説明せよ。
- (3) この地出身のイブン＝ルシュドは、ある哲学者の作品に高度な注釈を施したことで知られる。その哲学者の名前を記せ。
- (4) 13世紀末にこの国から分離独立した王国の名を記せ。
- (5) この頃の大きな出来事であるアナーニ事件の概略を説明せよ。
- (6) 「人文主義の王者」とも称せられた、ネーデルラント出身の学者の名を記せ。
- (7) この製作を依頼したのは、東フランドルを含む広大な地域を支配したカトリックの皇帝である。その名を記せ。
- (8) 彼に数年遅れ、1519年にチューリヒで宗教改革を始めた人物の名を記せ。
- (9) この時代に行われたマゼランの大航海が目指した、香料の特産地の名を記せ。

- (10) フランスにおけるアカデミーは1635年設立のアカデミー＝フランセーズをもって嚆矢とする。ルイ13世の宰相でこれを設立した人物の名を記せ。
- (11) この呼称は、19世紀後半にアメリカ大陸への進出をねらうフランスで用いられるようになった。1861年にナポレオン3世によってなされた軍事介入の対象となった国の名を(ア)に、この介入を撃退した大統領の名を(イ)に、それぞれ記せ。

B 近現代史家エリック＝ホブズボームは、産業革命とフランス革命という「二重の革命」に始まり第一次世界大戦で終わる時代を「長い19世紀」と位置づけた。ホブズボームによれば、「長い19世紀」とは、「二重の革命」を経て経済的・社会的・政治的に力を蓄えていったブルジョワジーという社会階層と、ブルジョワジーの地位向上とその新たな地位を正当化する自由主義イデオロギー<sup>(12)</sup>の時代であった。

イギリスの産業革命は、イギリスの対アジア貿易赤字に対応するための輸入代替の動きを大きな契機として始まった。イギリスではそれに先行する時代に、私的所有権が保障され、農業革命が進行するなど、工業化の条件が整っていた。<sup>(13)</sup>綿工業から始まった産業革命は、19世紀が進むにつれて、鉄鋼、機械など、重工業部門に拡大していった。この過程で、資本家を中心とするブルジョワジーが経済的・社会的な力を強め、<sup>(14)</sup>新たな中間層の中核を形成する一方、<sup>(15)</sup>伝統的な中間層の一翼を担った職人層はその少なからぬ部分が没落し、新たな下層である労働者層に吸収されていった。

フランス革命は、貴族層の一部、ブルジョワジー、サンキュロットと呼ばれた都市下層民衆、および農民という、多様な勢力が交錯する複合革命であった。「第三身分」が中核となって結成された議会は、封建的特権の廃止や人権宣言の採択、および立憲君主政の憲法の制定を実現したが、憲法制定後に開催された議会では、<sup>(16)</sup>立憲君主政の定着を求める勢力がさらなる民主化を求める勢力に敗北した。<sup>(17)</sup>対外戦争の危機の中で新たに構成された議会の下で、ブルジョワジーとサンキュロットが連携し、王政が廃止された。まもなく急進派と穏健派の間に新たな対立が生じ、急進派が穏健派を排除して恐怖政治のもとで独裁的

な権力を行使するようになったが、対外的な危機が一段落し、恐怖政治に対する不満が高まると、権力から排除されていた諸勢力はクーデタによって急進派を排除した。<sup>(18)</sup>しかし、穏健派が主導する新政府は復活した王党派とサンキュロットの板挟みとなって安定せず、フランスを取り巻く国際情勢が再び緊迫する中で、ナポレオンが台頭する。民法典の編纂<sup>へんきん</sup>や商工業の振興に代表される彼の施策は、おおむねブルジョワジーの利益と合致するものであった。<sup>(19)</sup>

「二重の革命」の影響は広範囲に及んだ。フランスにおいて典型的に実現されたとされる「国民国家」は、ヨーロッパ内外を問わず政治的なモデルと見なされるようになった。これが近現代の世界におけるナショナリズムの大きな源流のひとつである。1848年にハプスブルク帝国内に噴出した民族の自治や独立を求める動きや、<sup>(20)</sup>イタリアとドイツの統一国家建設は、「国民国家」という新たな規範がヨーロッパの政治に与えたインパクトを物語るものであった。また、多くの欧米諸国では、国民の権利意識や政治参加を求める主張が強まり、一定程度の民主化が進展した。民主化の潮流は、一方では、労働者層の権利意識を高め、<sup>(21)</sup>ブルジョワジー主導の自由主義的秩序の変革を目指す社会主義思想の普及につながったが、他方では、拡張的な対外政策への大衆的な支持の高まりや、「国民」とは異質な存在と見なされた集団への差別にもつながった。「長い19世<sup>(22)</sup>紀」を終わらせることとなる第一次世界大戦は、こうして蓄積されていたナショナリズムのエネルギーの爆発という側面を有した。

一方、ヨーロッパとアメリカ合衆国で工業化が進展した結果、欧米世界は、世界の他地域に対して圧倒的に強力な経済力と軍事力を獲得していった。欧米<sup>(23)</sup>以外の多くの地域では、工業化した諸国に経済的に従属する形で経済開発が行われ、19世紀以前とは大きく異なる貿易パターンが出現した。国民国家の建設および工業化を進めた諸国とそれに遅れた諸国との間の力関係は、前者の後者に対する圧倒的な軍事力の行使や、不平等条約として表面化した。19世紀<sup>(24)</sup>中葉から後半にかけて、欧米以外の諸国における上からの改革の動きは、経済や軍事の面で欧米諸国に追いつくことを大きな目標としていたが、その多くは挫折することとなった。のちにフランス革命前の「第三身分」になぞらえて「第三世界」と呼ばれるようになる地域の多くは、19世紀末までに欧米諸国の植民

地や勢力範囲に分割されることとなる。これらの地域に台頭する反植民地主義<sup>(25)</sup>的ナショナリズムは、ホブズボームが「短い 20 世紀」と呼ぶ時代の世界史を大きく動かす原動力のひとつとなっていく。

## 問

- (12) 主著『経済学および課税の原理』で、比較優位に基づく自由貿易の利益を説いた人物の名を記せ。
- (13) 18 世紀から 19 世紀初頭にかけて、イギリスにおいて議会主導で行われた農地改革を何と呼ぶか。
- (14) 1830 年代末から 1840 年代にかけて、イギリスでは、ブルジョワジーがみずからの利益を実現するために、ある法律の廃止を要求する圧力団体を結成し、法律廃止を実現した。この法律の名称を記せ。
- (15) イングランド北・中部の手工業者や労働者が起こしたラダイト運動とは、どのような運動であったか。
- (16) この勢力を何と呼ぶか。
- (17) この議会の名称を記せ。
- (18) この事件を何と呼ぶか。
- (19) 19 世紀前半のフランスでは、工業化をめざす政策が採用されたにもかかわらず、実際の工業化の進展は緩慢であった。その理由を述べよ。
- (20) このときに、ある民族集団は、一時的にハプスブルク帝国から独立した政権を樹立した。この民族集団の名を記せ。
- (21) 1886 年にアメリカ合衆国で結成された、熟練労働者を中心とする労働組合の名称を記せ。
- (22) 19 世紀末のフランスで発生したある事件は、反ユダヤ主義を反映するものであるとして、ゾラなどの知識人から批判を浴びた。この事件の名を記せ。
- (23) 19 世紀前半に、イギリス、インド、中国の間に出現した三角貿易を通じて、イギリスは対アジア貿易で黒字を計上するようになった。この貿易黒字は、どのようにして実現されるようになったのか。イギリスとインドの貿易商品に言及しつつ、簡潔に説明せよ。

- (24) 19 世紀後半に清で行われた富国強兵をめざす改革運動を何と呼ぶか。
- (25) 1925 年にホー＝チ＝ミンが結成し、のちにベトナムの独立運動を中心となって担っていく組織の母体となった団体の名称を記せ。

世界史B問題は、このページで終わりである。